

【担当教員名】 黒川幸雄	対象学年 3	対象学科 理学
	開講時期 前期	必修・選択 必修
	単位数 2	時間数 60時間

<一般目標：GIO>

1. 運動療法の基礎的治療に関する知識と技術について学習する。
2. 物理療法の適応と応用できる知識と技術を学習する。
3. 理学療法の基礎的治療に関する特定の知識と技術について学習する。

<行動目標：SBO>

1. 脳血管障害の理学療法について説明でき、一定の指導援助の下で基本的技術を遂行できる。
2. パーキンソン症候群について説明でき、基本的理学療法を指導援助の下で遂行できる。
3. 固有受容性神経促進手技（PNF）の基本的知識を説明でき、一定の基本的手技を指導援助の下で基本的技術を遂行できる。
4. 神経発達学的治療手技（ボバース法）の基本的知識を説明でき、一定の基本的手技を指導援助の下で基本的技術を遂行できる。
5. その他理学療法の基本的技術について説明でき、一定の基本的手技を指導援助の下で基本的技術を遂行できる。
6. 物理療法の適応、禁忌を説明でき、一般臨床に応用できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
		番号	
1	オリエンテーション、脳血管障害、パーキンソン症候群に関する基礎的な知識	1.2	講義
2	1. 理学療法（運動療法）の基礎<基本的解剖学的・生理学的知識>	1.2	講義
3	2. 運動療法の基礎（運動位療法の種類、運動療法の流れ、運動療法のリスク管理）	1.2	講義
4	3. 脳血管障害の運動療法総論	1.2	講義
5	脳血管障害の内科的治療と運動療法、急性期・回復期・維持期・ターミナルケアなど	1	講義
6	脳血管障害の内科的治療と運動療法、急性期・回復期・維持期・ターミナルケアなど	1	講義
7,8	神経発達学的治療手技（ボバース法）の基本的知識	1.4	講義
9,10	神経発達学的治療手技（ボバース法）の基本的手技（実習）	1.4	実習
11	固有受容性神経促進手技（PNF）の基本的知識	1.3	講義
12	固有受容性神経促進手技（PNF）の基本的手技（実習）	1.3	実習
13	Brunnstrom法に関する基本的知識	1	講義
14	Brunnstrom法に関する基本的知識	1	実習
15	実技テスト	1	実技
16	実技テスト	5	実技
17	実技テスト	5	実技
18	実技テスト	5	実技
19	特殊テクニック 筋力トレーニング（呼吸筋トレーニング）講義	5	講義
20	筋力トレーニング（呼吸筋トレーニング）講義	5	講義
21	特殊テクニック 呼吸筋トレーニング実技	5	実技
22	呼吸筋トレーニング実技	5	実技
23	パーキンソン症候群の運動療法講義	2	講義
24	パーキンソン症候群の運動療法実習	2	実習
25	物理療法の応用（講義）	6	講義
26	物理療法の応用（実技）	6	実技
27,28	その他・基礎理学療法治療学実習に関するまとめ	1	講義
29,30	期末テスト	6	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	1. 標準理学療法学 運動療法学総論・各論	医学書院		
	2. 標準理学療法学 物理療法学	医学書院		
参考書				
その他の資料	随時配布			
【評価方法】	【履修上の留意点】			
期末試験、実技テスト、レポート、授業参加状況を総合的に評価する。	・日程が変更になる場合があるので、追って変更を連絡する。			